

12  
December



# 俳句

(2024)



## 目次

た べ も の 俳 句	モ ー ロ ク 俳 句	歳 時 記 俳 句
10 〽	5 〽	1 〽

12月の和名は「師走」。「師が忙しく東西を馳せる」という意味です。  
この「師」とは僧侶のこと。12月は家々で僧を迎えて読経などの仏事を行うので、とても忙しかったことに由来します。

(宇佐美保幸)メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに  
巢鴨とげぬき徒然俳句  
<https://blog-haiku.777usami.com>

十二月消防サイレンけたたまし

電飾の闇に何者十二月

電飾の闇に欲望十二月

一日のスピード上がる十二月

十二月我に締めくり何もなく

東京湾工場夜景十二月

ポインセチア出荷前にはしおらしく  
魔女眠るポインセチアの赤の底

実南天フリーランスになりにつけり  
議論せよ議論に負けて蜜柑剥く

ベランダにシャコバサボテン零れ咲き  
半分は枯れ野もう半分も枯れ野

風力のプロペラ地獄大鷹に  
レノンの忌山手線は順調に



団地行きバスは貸し切り冬時雨  
団塊も後期高齢山眠る

年の市今はブラックマンデーと  
冬ぬくし地球ますます温暖化  
冬温しワイン日本酒つつがなく

風生まれ光あの世か冬蕨  
義士の日も外人混み合う浅草は

生き延びて冬の蜻蛉や吾もまた  
冬晴れに猫背段々ひどくなり

朝起きて湯たんぽどこと探しけり  
新人が石炭ストーブ昭和かな

柗の花と話せる宇宙人  
日記買う書かぬ日記が増えにけり



年の瀬やなぜか黄蝶が浮かれ出て  
冬木あり冬木は冬木冬木あり

捨て難き漫画多くて煤籠  
ホテルには見栄を競いし大聖樹  
飾られた聖樹焼却CON

妖怪は無国籍なり冬の薔薇  
アレ食えば道頓堀に雪が降る

瓶の蓋頑固頑迷虎落笛  
マンションの何処が悲鳴を虎落笛  
寢室の窓をたたいて虎落笛

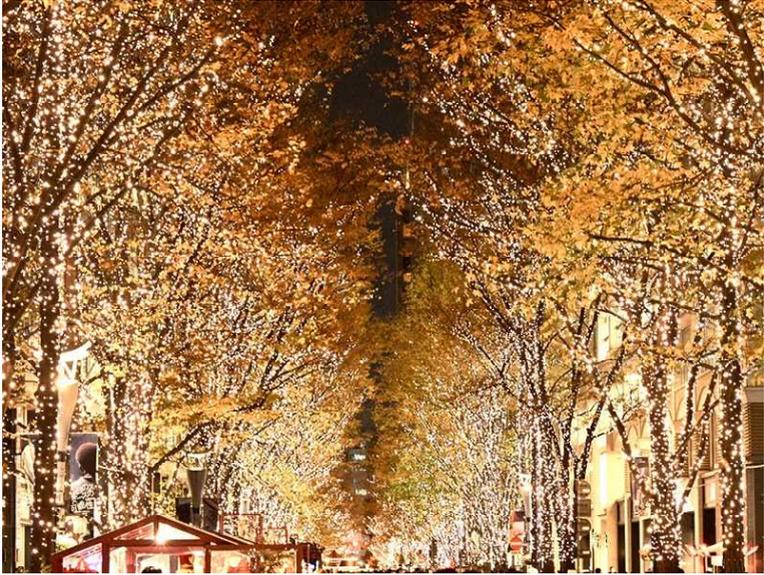
遺伝子のゆえに気短大寒波  
年暮れる年金生活変わりなし



小晦日いつものごとくブログ書く

街中華年中無休大晦日  
年越すや東京湾を抱きながら  
子は誰もユーチューブかな大晦日





モーロク俳句

モーロクし変りなき街十二月  
モーロクし鼻くそほじる十二月  
モーロクし生き急くなよ十二月

冬うららモーロク我は伸び縮み  
モーロクしポインセチアに水をやる

モーロクし世間に遅れ枇杷の花  
モーロクし大根を播る欲望も

モーロクしされど明るく冬紅葉  
モーロクしどこか虚ろに冬紅葉

揺れる枝揺れるモーロク冬木の芽  
豚汁があればご機嫌モーロクし



モーロクし約束反故に竜の玉  
モーロクしすべて風化し龍の玉  
モーロクし独りよがり龍の玉

モーロクし閉ざす音あり冬の雨  
モーロクし前もその後も冬の川  
繰り返し渡るモーロク冬の川

冬の星降るよモーロク脳内に  
モーロクし明日こそはと冬の鳥

モーロクし膝に抱える冬の日を  
冬の夜の錆びてモーロク二枚舌  
冬の夜のそぼ降る雨にモーロクす

モーロクしおでこに口に冬の蠅  
モーロクし枯るとは縮むこと



冬枯れのモーロク吾は縮みけり

モーロクし夢の続きの日記買ふ  
モーロクしまフラー巻いて就寝す

モーロクすされど臘梅盛りなり  
初雪を待ち焦がれたりモーロクし  
新雪はすぐによごされモーロクす

モーロクし分別なくし年の暮れ  
モーロクしあなどりがたし年の暮  
モーロクしあれそれこれと年の暮れ

師走とて何も急がぬモーロクす  
モーロクしど演歌ひと節年用意

クリスマス黙って嫉妬モーロクす  
モーロクしここにそまぬ寒き日や



モーロクし寒さを嘆く余裕かな  
寒くなる寒くなりけりモーロクし  
寒ければ寒いと言ひしモーロクす

モーロクしブレーキ利かぬ毛布干す  
モーロクし胸に木枯ふきにけり  
演歌聴く外は木枯らしモーロクす

息白し生きてる証モーロクす  
息白し相容れ難きモーロクす

モーロクし思いあれこれ小晦日  
晦日蕎麦過去と未来やモーロクす



たべもの俳句

納豆の糸一段に雪の朝

冬温しあんパン食べるまた温し  
みずみずし炒め大根しようゆ漬け

味噌だれでこれも焼鶏かしら肉  
柚しぼり男手製のちらしずし

大根の皮を厚切りポン酢漬け  
香ばしき焼き大根は江戸料理

いか大根互いのうまみ引き立てて

とろっとしたなめこ味噌汁定番で  
湯豆腐に薬味いろいろ七変化



外は雪レシピ通りにおから煮る  
ほかほかの心で冬をおぜんざい

メリハリをセロリきんぴら唐辛子  
コラーゲンあふる手羽先キムチ鍋

平凡に揚げと白菜卵とじ  
大根と厚揚げおでんあごだしで

葱刻む一人分には多すぎる  
柚子ジャムや砂糖控えてほろ苦く

桜鍋老舗に今も下足札

伝統のおでん変身ビストロに  
夫婦してこんにやく好きでおでんかな

牡蠣雑炊ふんわり卵ぽかぽかに



冬至南瓜レンジの威力ほくほくに

鍋パスタ男一人のクリスマスマス  
カルボナーラ鍋に仕立ててクリスマスマス  
手作りのローストビーフクリスマスマス

たっぷりの大根おろしですき焼きを  
すき焼きを豚バラ肉で我慢して

今川焼日本各地の味比べ

シヤキシヤキの水菜歯ざわり常夜鍋  
火星地球に住めぬキムチ鍋

鍋焼にえび天一本ときめきて  
鍋焼や焼麩にからむ生卵

海老天を年越し蕎麦に奮発し





